

中日新聞(4/1)に ムラタが掲載されました！

2025年(令和7年)4月1日(火曜日)

/ 中

回

発行

月号



社員が登場する映画風ポスターを紹介する村田光生社長＝いずれも静岡市駿河区の村田ボーリング技研で

村田ボーリング技研 静岡市駿河区

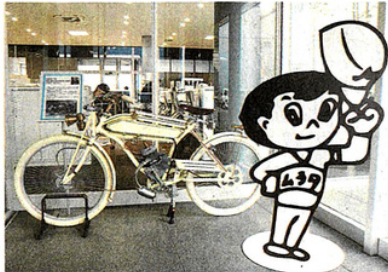
多彩な仕掛け 話題提供

ガラス張りの玄関で出迎えてくれるのは、レトロな原付き自転車と、「ムラタ」の映画風ポスターが飾られている。村田ボーリング技研(静岡市駿河区)の本

光生社長(67)がいたずらっぽく笑った。思い起こすのは関西で顧客開拓に励んでいた若いころ。朝一番にJR静岡駅を出発し、時刻表を手に1日に4社を訪問する日々が数年続いた。原付き自転車は1946年のホンダ製。原付きの流



さまざまなポスターや縫いぐるみが並ぶ玄関



レトロな原付き自転車と「ムラタ坊や」

村田ボーリング技研 1950年の創業以来74年連続で黒字経営を続ける。2022年には、人を幸せにする経営を実践している企業を顕彰する「『日本でいちばん大切にしたい会社』大賞」の審査委員会特別賞を受賞。結婚祝い金10万円や出産一時金10万～20万円などの福利厚生に力を入れる。従業員数は90人。

行と会社の創業が同時期だったことから置くようになったという。イラストは今の現役社員が50年ほど前に考案した「ムラタ坊や」というキャラクターで、社章にもなっている。

映画風ポスターには作業着姿や愛用の工具を手にした社員が登場。採用活動の一環で5年ほど前、村田社長が「他の会社と違ったことがしたい」と発案して制作した。東海道新幹線の静岡駅構内などに広告として掲示され、目に触れる機会も多い。実際にポスターが入社のきっかけになった社員もいるという。

村田ボーリング技研という会社もまた、他社が手を付けない需要に応じて歩んできた。社名の「ボーリング」は、内面が摩耗したエンジンジンを削り直して再生させる祖業の技術が由来。創業11年後の61年には、傷ついた金属製品の表面に粒子を吹き付けて被膜を作る「溶射」にいち早く参入

し、業績を拡大した。村田社長によると、溶射を手がける企業は県内で3社、全国で80社程度。溶射後の仕上げまで工程を一貫して自社で担い、顧客の要望に応える技術力を持つことが強みという。

人手不足など中小の製造業を取り巻く環境が厳しさを増す中、支えとなっているのが社長就任後に入学した法政大学大学院での学びだ。「人を大切にする経営」で知られる坂本光司教授(当時)の研究室に入り「それまでの利益必達という考え方が百八十度変わった」。村田社長自身、社員を前向きにさせて好業績を続ける全国2500社を訪問し、経営の糧にしていた。

「社員が生きていくと働き、いい商品をつくるという流れを循環させたい。ひとつのつくりとものづくりが究極の目標」。社員目線の経営を心がけようと、自分の名刺の肩書は「社長の仕事をする一般社員」にしている。(斎藤航輝)

会社の「顔」募ります
ユニークな玄関を構えた会社の情報を、自薦、他薦を問わずお待ちしています。左側帯のメールアドレスやQRコードを通じてお送りください。



4/1の中日新聞の朝刊にムラタが掲載！「玄関参観」という企画記事に、ムラタの歴史や社風、会社のめざす先など大変好意的に取り上げていただきました！ありがとうございました！